

## 0540 | ワークショップ研究Ⅰ

2 単位（通信授業 1 単位、面接授業 1 単位）

杉山貴洋講師、川本雅子講師、田中千賀子講師

## 授業の概要と目標

ワークショップ研究は、学校や教室のみならず、ひろく社会の場において、造形活動に関わり、つくる、みる、伝えるなどの実践を研究するものである。グループで活動するときに使われる「ワークショップ」という手法を通じて、様々な視点から、コミュニケーションの方法、グループワークの広がり、造形活動の可能性などの在り方を考察する。

## 課題の概要

## ○面接授業課題

夏のスクーリングに参加してワークショップを体験する。またワークショップを体験し、議論をおこない、その展開を試みる。

グループワークや体や言葉を使ったコミュニケーション活動などを含む。

## ○通信授業課題

各自の地域や社会教育施設等で開催されているワークショップに参加する。そのプロセスをイラスト、漫画、絵日記などで簡潔にまとめる。また、その記録とレポートと合わせて提出する。

\* 課題については学習指導書『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』を必ず参照すること。

## 授業計画

面接授業



通信授業

面接授業→通信授業とする。

教科書『造形ワークショップ入門』の目次より。

- 第 1 章 ワークショップの手法
- 第 2 章 ワークショップをつくる
- 第 3 章 ワークショップをまなぶ

## [面接授業]

- 第 1 日 実際にワークショップを体験し、その手法と特長を理解する。
- 第 2 日 ワークショップの手法をもとに、テーマを設定し、制作や演技・計画などを組み立てる。
- 第 3 日 2 日目に計画されたワークショップを発表し、レポートに簡潔にまとめる。

## [通信授業]

各自の地域や社会施設で開催されているワークショップに参加する。(ワークショップ研究Ⅰでは、参加者からスタートする。企画に携わる試みは、ワークショップ研究Ⅱで行う。) そのプロセスをレポートにまとめ、添付資料としてイラスト、漫画、絵日記などを使って簡潔にまとめる。具体的な方法はスクーリングで紹介されるものを参考とする。また、その記録とレポートを合わせて提出する。

## 成績評価の方法

面接授業と通信授業の総合評価とする。

## 履修条件及び履修年次

- [履修年次] 1～4 年次
- [履修条件] なし
- [備 考] 履修年次は問わない。

## 教材等

- 教科書：高橋陽一監修『造形ワークショップ入門』（武蔵野美術大学出版社 2015 年）
- 学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）